

輝く、研究者たち

PD

生命科学の生命倫理学 新分野に身を投じ、もがき続ける日々



3年半前、現職公募を知らされたときは、大阪で非常勤講師を掛け持ち。薄く長い交際相手と引き延ばした結婚直前。「後々恨まれたくない」との了解を得、喜んで応募。同居4カ月半で単身熊本へ。楽。文系の哲学・倫理学出身の私には生命科学の生命倫理学は学ぶことばかり。共用棟にて同僚のみなさんに実験について教えてもらい大感謝。でも終日デスクワークの身、実験室は機器音が気になり、本が増殖する生命倫理学研究室へ。生命倫理学分野は、医師や看護教員の大

学院生が数名、主に臨床倫理を研究している。社会文化科学研究科の先端倫理学の研究会にもおじゃます。1年目は日本政府のヒト胚関連の研究倫理指針策定について資料調査。2年目は日本のクローン人間論を幅広く資料調査。医療分野の哲学的・公共的対話の実践研究も追究中。また夏のリトリート・セミナーではワークショップ。発生研広報グループとの協力で学園祭等で科学コミュニケーションも。生命倫理学は、学際的で、方法も多様、それほど確立していない。科学技術の倫理的社会的課題の取組みには人文・社会科学・自然科学の相互理解がもっと必要。せっかく生命科学者のなかで研究できるので、科学者対象の実証調査もしたいが、方法に通じず進んでいない。学際的に海に溺れ、方法論に悩み、協働を夢見て、浅薄(せんぱく)と愚鈍(ぐどん)を嘆く毎日。

職名 COEリサーチ・アソシエイト
氏名 會澤久仁子 Kuniko Aizawa
現在の分野 生命倫理学分野
研究テーマ 「発生再生医学の倫理学とコミュニケーション」

夫宅へは月1回未満。掃除(しないと次がもっと恐怖)に疲れて帰熊。3年目の再公募時には夫の機嫌を損ねそうになり、黙って応募したら、後で陰悪に。お茶を濁した。結婚記念日に貰った花鉢が夏休みに枯れたのは内緒。念のため今も水やり。3年目は何も届かず。気の毒な夫とすごい浅井教授はじめ周囲の方々に感謝し、非才な身の将来と、再同居の不適応、目処ない高齢出産を案じつつ、のんきに余裕ない生活を満喫中。



長年愛用しているマグカップは、大切な宝もの。電子辞書は、英語用と医学用で使い分け

学 年 COEリサーチ・アソシエイト
氏名 佐藤卓史 Takashi Sato
現在の分野 遺伝子機能応用学分野
研究テーマ 「小胞体品質管理ネットワークの基盤構築」

身に付いていた自分にとって、答えのない問題に対してどのような手段で答えを導くのか、ということを考える必要性を気付かせてくれた友人、大学でしかできないオリジナリティーのある研究を行う術や自分でゼロから研究を行うために必要なことなど、研究者としての基本を教えて頂いた甲斐教授に感謝しています。また、グローバルCOEプログラムに参加できたおかげで、自分のアイデアで自由に研究を行うことができ、異なる研究分野の方々との交流を通して実験結果のディスカッションや新たな実験手技の習得など、研究者としての幅を広げることができました。4月から赴任する福島県立医科大学の教授との出会いも、リエゾンセミナーがあったから。グローバルCOEプログラムには多大なる恩恵を受けさせて頂き、感謝しています。

研究については、分泌タンパク質の生産工場として知られる、小胞体でのタンパク質の品質管理がどのように制御されているかを分子レベルで解析しています。福島に異動後は、顕微鏡を用いて生細胞内でのタンパク質の挙動を分子レベルで解析し、多種多様なタンパク質で混雑する小胞体内で秩序だった品質管理が、どのようにして行われているかを調べる予定です。

今後も人との出会いを大切に、研究者として成長した姿をみなさんにお見せできるように頑張っていきたいと思っています。



デスクトップはお気に入りのサッカーチーム。アメリカで手に入れたマグカップは、デスクワークのお供

OB

2002年からの出来事



2002年1月、大苦戦の末、小さな論文で学位を取ることが決まりました。そこで私は、「神経上皮細胞の培養を教えてください。研究生として授業料を払いますからラボに入れてください。」と田賀先生にメールを送り、熊本での生活が始まりました。幸いなことにポストクとして雇ってもらえることになり、半年後には21世紀COEが始まりました。直属のボスが拠点リーダーで、押しかけでラボに入れてもらったこともあり、少しでも役に立たなければ！という状況でした。

熊本時代の師匠である柳澤さん(ジョージア医科大助手)とC棟2階の薄暗いCOE実験室に移り、指名されるままに第1回リエゾンラボ研究会でプレゼンし、発生研新棟への引っ越しをし、最終的にCOEのヌシのようになっていました。その甲斐あって？COE関係の全てのラボに友人ができ、サイエンスだけでなく、プライベートでも飲み会をしたり、リラックスした雰囲気の中で研究を進めることができました。またCOEバックアップの元、自信作の論文がアクセプトされ、生殖発生分野(山田源教授)で大学院生をしていた奥さんと結婚することになりました(ある意味COEの積極的なラボ交流が生み出した私の最大の業績か)。熊本を離れるとき、田賀先生から、「よくできました！」と言われた瞬間は忘れられません。

今は助教として忙しい毎日を過ごして

氏名 福田信治 Shinji Fukuda
現在の所属 愛媛大学大学院 医学系研究科 生化学・分子遺伝学分野
職名 助教
大学在学時の所属 転写制御分野

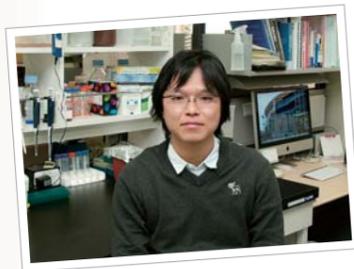
います。田賀研時代は助教だった信久さん(東京医科歯科大准教授)が大学の先輩ということもあり、困ったことは信久さんをお願いしてばかりでしたが、いざ自分になってくると、ああ信久さんは偉大だったと痛感します。愛媛大は近藤亨先生、今村健志先生が赴任され、これからCOEのようなラボ交流が始まろうとしているところです。発生研時代のような飲み会の幹事というわけにはいきませんが、COEで過ごした素晴らしい時間を再び経験できるようにと期待しています。



娘を抱っこしているのは妻の恩師・山田源先生

PD

出会いに恵まれて



私は、熊本大学薬学教育部遺伝子機能応用学分野(甲斐研究室)で博士号取得後、学術振興会特別研究員を経て2009年4月よりグローバルCOEリサーチ・アソシエイトとして研究に従事しています。約12年前の大学入学に伴い熊本にやってきた時には、将来自分が研究者になるとは夢にも思ってもいませんでした。研究者を志すきっかけとなったのは、友人や恩師である甲斐教授との出会いにあったように思います。高校時代から「答えは暗記するもの」という習慣が

きりになった今でも、休日の培地交換などは全て僕一人で行っている。少々愚痴っぽくなったが、自由な発想で研究することを許されている、今の環境には大変満足しているし、ボスにも感謝している。実中研は来年、川崎市の殿町という所に移転する。多摩川を挟んで羽田空港の対岸という好立地だが、騒音問題など大丈夫なのだろうか…ともあれ、熊本から羽田を経由し、次は世界へと羽ばたくことのできるよう、これからも日々精進の毎日である。

学 年 COEリサーチ・アソシエイト
氏名 樋口裕一郎 Yuichiro Higuchi
現在の所属 実験動物中央研究所 パイオメディカル研究部
職名 研究員
大学在学時の所属 多能性幹細胞分野

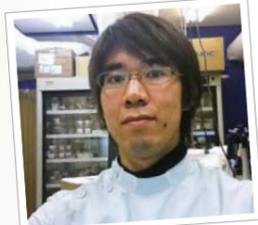
今日から僕も富士山だ！
熊本では修士、博士課程の6年間に加え、学部も熊大理学部からの進学だったので、計10年間という長い月日を過ごした。今思うと熊本での研究生活は大変恵まれていたように思う。COE Jr.リサーチアソシエイトとしての雇用や学会参加旅費の援助、毎週行われるリエゾンラボ、図書館での調べものにも事欠かない。その他にもサマー・リトリート・セミナーや国際シンポジウム、バーベキュー大会、阿蘇の温泉、豚骨ラーメンetc… 思い返すとそれらのすべてが大変有意義なものだったと感じる。



デスクトップはお気に入りのサッカーチーム。アメリカで手に入れたマグカップは、デスクワークのお供

OB

熊本から川崎へ ～拝啓、僕は元気でやっています～



多能性幹細胞分野で博士課程を修了し、今年の4月から神奈川県にある実験動物中央研究所(実中研)に勤務している。こちらに引っ越してくる際、飛行機から初めて富士山を見た。それまでも学会や就職活動で飛行機に乗る機会があったのだが、天候不良だったり、晴れているときに限って通路側の席だったり、何かと富士山を拝む機会を逃していたのだ。雄大にそびえる日本一の山を見ていると、初めて関東で生活することへの不安など、とてもちっぽけに思えた。そう、何事もポジティブシンキング！

現在は実中研でヒトiPS細胞を用いた、新しいヒト化モデルマウスの作出研究に取り組んでいる。研究チーム内にヒトiPS細胞を扱ったことのある者が僕だけだったこともあり、最初は培養系の立ち上げから取り組んだ。安定して実験で

氏名 樋口裕一郎 Yuichiro Higuchi
現在の所属 実験動物中央研究所 パイオメディカル研究部
職名 研究員
大学在学時の所属 多能性幹細胞分野

きりになった今でも、休日の培地交換などは全て僕一人で行っている。少々愚痴っぽくなったが、自由な発想で研究することを許されている、今の環境には大変満足しているし、ボスにも感謝している。実中研は来年、川崎市の殿町という所に移転する。多摩川を挟んで羽田空港の対岸という好立地だが、騒音問題など大丈夫なのだろうか…ともあれ、熊本から羽田を経由し、次は世界へと羽ばたくことのできるよう、これからも日々精進の毎日である。



(上)現・実中研。僕の居室は最上階(右)新・実中研完成予想図